

田沢湖の景色

水深 423.4 メートルの田沢湖は、日本で最も深い湖です。鮮やかな青色の水は緑豊かな山森に囲まれており、風の穏やかな日にはその景色が湖水に映し出されます。

仙北の象徴である田沢湖は、季節ごとに新しい姿を見せます。春には湖岸に桜が咲き、秋の赤と橙に燃える紅葉を経て、冬には真っ白な深い雪に変わります。

20 キロメートルにおよぶ湖岸のあちらこちらに車、自転車、そして遊覧船から楽しめる史跡やレジャースポットがあります。湖の東岸にある白砂が美しい白浜（しらハマ）では、春から秋にかけてボートやパドルボードを楽しめます。夏の数週間は泳ぐこともできます。

ほぼ完全な円形の田沢湖の北端には、湖岸に朱色の鳥居がそびえています。この御座石神社の付近には龍に変身した「たつこ」という名の女性についての地元の伝説に関連する興味深い場所が数多くあります。湖の西端には、言い伝えに出てくるこの若い女性の金色像が水面に立っています。この像は、田沢湖沿岸にある多くの見どころのひとつです。